

「国語」・「算数」・「理科」の力と学習の様子

～『H30 全国学力・学習状況調査 (2018. 4. 17)』の結果から～

国高小学校 保護者の皆様へ

平成30年4月17日（火）に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。

国語、算数、理科の問題があり、「学校・家庭での学習状況に関する質問紙調査」もありました。

その結果および分析を受け、国高小学校の子どもたちの学習と生活の様子をまとめました。

(◎は良いところ、▲は伸ばしたいところ)

国語について

①「主として知識に関する問題（国語 A）」の結果から

◎学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができます。反復学習の成果が出ています。

◎主語と述語の関係に注意して、文を正しく書くことができます。

◎物語の登場人物の心情について、情景描写をもとに読み取ることができます。

▲相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題があります。尊敬語や謙譲語の使い方について、相手や場面を想定した言語活動を取り入れます。

②「主として活用に関する問題（国語 B）」の結果から

◎話し合いの参加者として、質問の意図をとらえることができます。

◎「お薦めする文章」を書く時には、比較して書くことで、良さが伝わることをとらえることができます。

▲話し手の意図と自分の考えを比べて考えを書くこと、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを書くことに課題があります。説明文の授業では、筆者の主張を要約する活動を取り入れたり、筆者の主張に対する自分の考えを書く活動を取り入れたりします。また、物語の授業では、主題について、短くまとめ、考えた理由を書く活動を取り入れます。

算数について

①「主として知識に関する問題（算数 A）」の結果から

◎小数の除法の意味、空間の中にあるものの位置関係など、基本的な内容を理解できています。学習の成果が出ています。

◎全体の人数の何%にあたるか、百分率を求める問題ができています。

▲180度よりも大きい角の測定の仕方について、課題があります。これは、4年生の1学期の学習内容です。分度器を使って、180度や360度をもとに測定していく活動を取り入れます。

②「主として活用に関する問題（算数B）」の結果から

◎示された情報・考え方を解釈し、条件にあう解答を求めたり判断したりすることができています。教科書の文章問題を正確に解く成果が出ています。

▲記述する問題に課題があります。教科書には、「説明する問題」が度々出てきます。どのように記述していけばよいのか、書く活動を取り入れます。

理科について

◎理科に対する関心意欲が高い児童が多いです。

◎理科に関する重要な知識が定着しています。

▲観察実験に関する問題が課題です。アルコールランプの使い方、顕微鏡の使い方、虫眼鏡の使い方などの実験器具の使い方について、児童が確実に使い方を習得できるように、活動を多く取り入れます。

学習や生活について

◎「自分には良いところがある」と思っている児童が多くいます。

◎夢や目標をもっており、人の役に立つ人間になりたいと思う気持ち強い児童が多くいます。

◎「いじめは、どんな理由があってもいけない」と考えている児童が多くいます。

◎予習・復習をする、宿題をするなどの家庭学習の習慣が身につけている児童が多くいます。

◎算数で学習したことを普段の生活の中で活用できないかと考えたり、算数で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと考えたりしている児童が多くいます。

▲朝食を食べない、もしくは、食べないことがあるという児童が、約20%います。「早寝・早起き・朝ご飯」は、児童が規則正しい生活をしていく上で、身につけてほしい習慣です。特に、朝ご飯を食べないと、午前中の学習で集中力が落ちるなど、子どもたちの学習意欲にも影響が生じやすいと言われています。

家庭でも、規則正しい生活を継続していけるようご協力をお願いします。

